

「知ろう！考えよう！タンチョウと身近な自然」の開催結果

【開催概要】

日時 平成30年11月18日（日）10：00～12：00

主催 環境省北海道地方環境事務所

参加者 24名（子供11名、大人13名）



【実施内容】

本イベントは、道北でも繁殖が確認されているタンチョウとの共生に向け、タンチョウに対する関心を高めることを目的に開催しました。当日は、タンチョウ保護研究グループの百瀬氏、浜頓別町の小西氏らからの講話や子供たちによるワークショップと発表などを行いました。

■タンチョウのことを知ろう！

タンチョウの生態や道東における過密化によって生じた課題などを説明。また、越冬地が徐々に広がっていることを紹介。



■長沼町の「タンチョウも住めるまちづくり」を知ろう！

長沼町におけるタンチョウも住めるまちづくりの取組経緯や地域でのイベント開催、観察マナーなどについて紹介。



■タンチョウが暮らす身近な自然を知ろう！

道北におけるタンチョウの暮らしや飛来した経緯について説明。

■タンチョウのために出来ることをみんなで考えよう！

講話を通してタンチョウのことを知った子供たちは、「タンチョウに安心して暮らしてもらうためにできること」を班ごとに考えました。そして、最後に班で話し合った内容を模造紙にまとめ、発表しました。



班ごとに話し合い



参加者にむけて発表

百瀬氏、小西氏、環境省北海道地方環境事務所から子供たちの発表に対して講評

